

もっとメキシコ モコ

メキシコ・レポート 

今回のテーマ

メキシコ 選挙戦に突入

3
月号

 変化を訴える野党に追い風

メキシコでは、2018年7月に実施される大統領選に向けて立候補者が出揃ってきています。今回、注目されているポイントは急進左派政党である国家再生運動(MORENA)の台頭です。

2012年に制度的革命党(PRI)が政権を奪還し、大規模な構造改革を進めて経済を拡大してきましたが、麻薬戦争の激化に伴う治安悪化や汚職、さらにトランプ米政権との関係悪化といった問題などから、現政権に対する国民の不満が募っていました。

その中で、MORENAから立候補しているオブラドール氏は、米国に対する強硬姿勢や治安対策の必要性などを掲げ、複数の調査において高い支持率を集めてきました。同氏は“アムロ”の愛称を持ち、過去にメキシコ市長を務めた実力者としても知られ、現状からの変化を求める国民感情を追い風に、現在最も有力な候補者の一人となっています。

一方で、過去2回の大統領選において、いずれも次点で敗北していることから、今回の選挙戦においても先が読めない状況です。


 選挙キャンペーンを控え、候補者が出揃う

もう一つポイントとして挙げられるのが、支持率調査において「無回答/未定」と回答した浮動票の動向です。

オブラドール氏に次ぐ有力候補者に浮動票が流れた場合、情勢が変わる可能性は十分に考えられます。

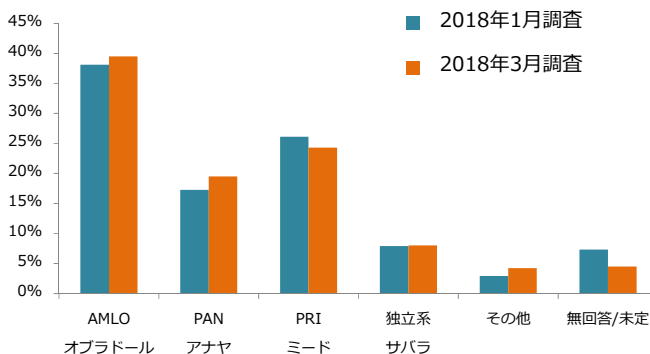
与党・PRI所属のミード氏は、現政権からの政策を引き継ぐ可能性が高く、大きなリスクはないと見られる一方で、汚職問題への対応に注目が集まると考えられます。

最大野党・国民行動党(PAN)所属で中道左派、民主革命党(PRD)との統一候補であるアナヤ氏もトランプ米政権への批判を表明しており、一定の支持を集めています。

また、カルデロン前大統領夫人でPANを離党したサバラ氏をはじめとした無所属候補らも、現政権からの変化を訴えており、今後支持率を伸ばす可能性が考えられます。

さらに、選挙戦終盤で無所属候補が他党の候補者を支援する可能性もあり、今後の情勢にますます注目が集まっています。

主な立候補者の支持率



今後のスケジュール

2018年3月30日	選挙キャンペーン期間開始
2018年7月1日	投票日
2018年12月1日	新大統領就任

各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわすぎん



大和住銀投信投資顧問

Daikwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会